

## 日レセ連携システム（電子カルテ等）に関する院外処方せんの一般名処方に係る 対応について（2012. 3.13）

電子レセプトの医薬品マスタ（薬価基準収載品における一般名）の取り扱い及び厚生労働省における一般名マスタ提供について不明確な部分があるため、現時点での対応方法であり、今後変更となる場合があることにご留意願います。

### 1 一般名運用の概要

#### 基本的な考え方

日レセは、電子レセプトの医薬品マスタの医薬品コード（数字9桁コード）のみ受け付け可能です。

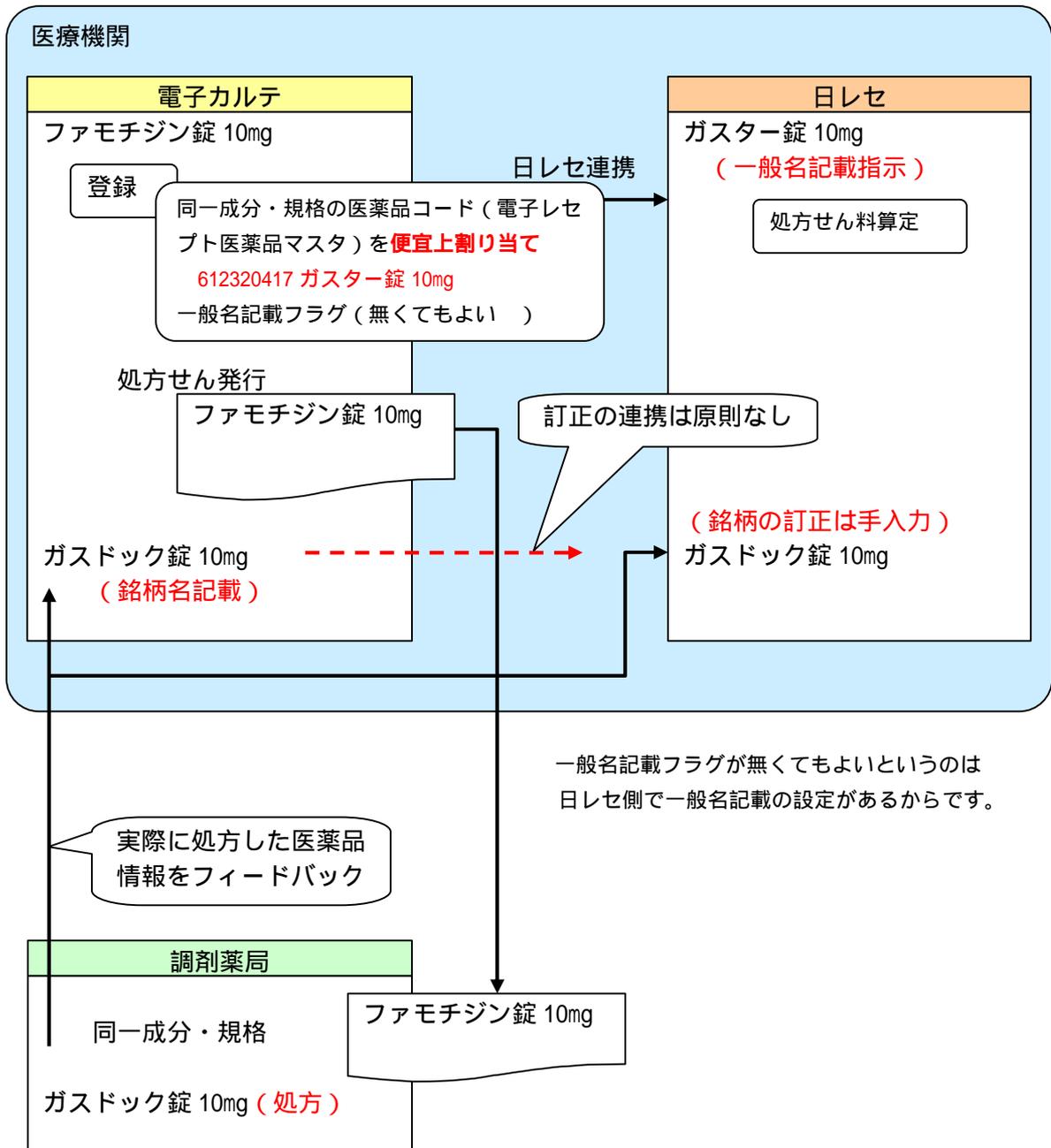
よって、厚労省コード（薬価基準収載医薬品コードの下3桁が”ZZZ”）及び日レセ連携システムが一般名を指す独自コード等は受け付けできません。

一般名については、同一成分・規格の銘柄名等の医薬品コードを便宜上割り当ていただき、一般名記載であることが判定可能な方法による連携を行います。

運用例 1

電子カルテ側は、一般名を保有しており、処方せんの発行も行います。  
 一般名ファモチジン錠 10mg は、医薬品コードがありません。

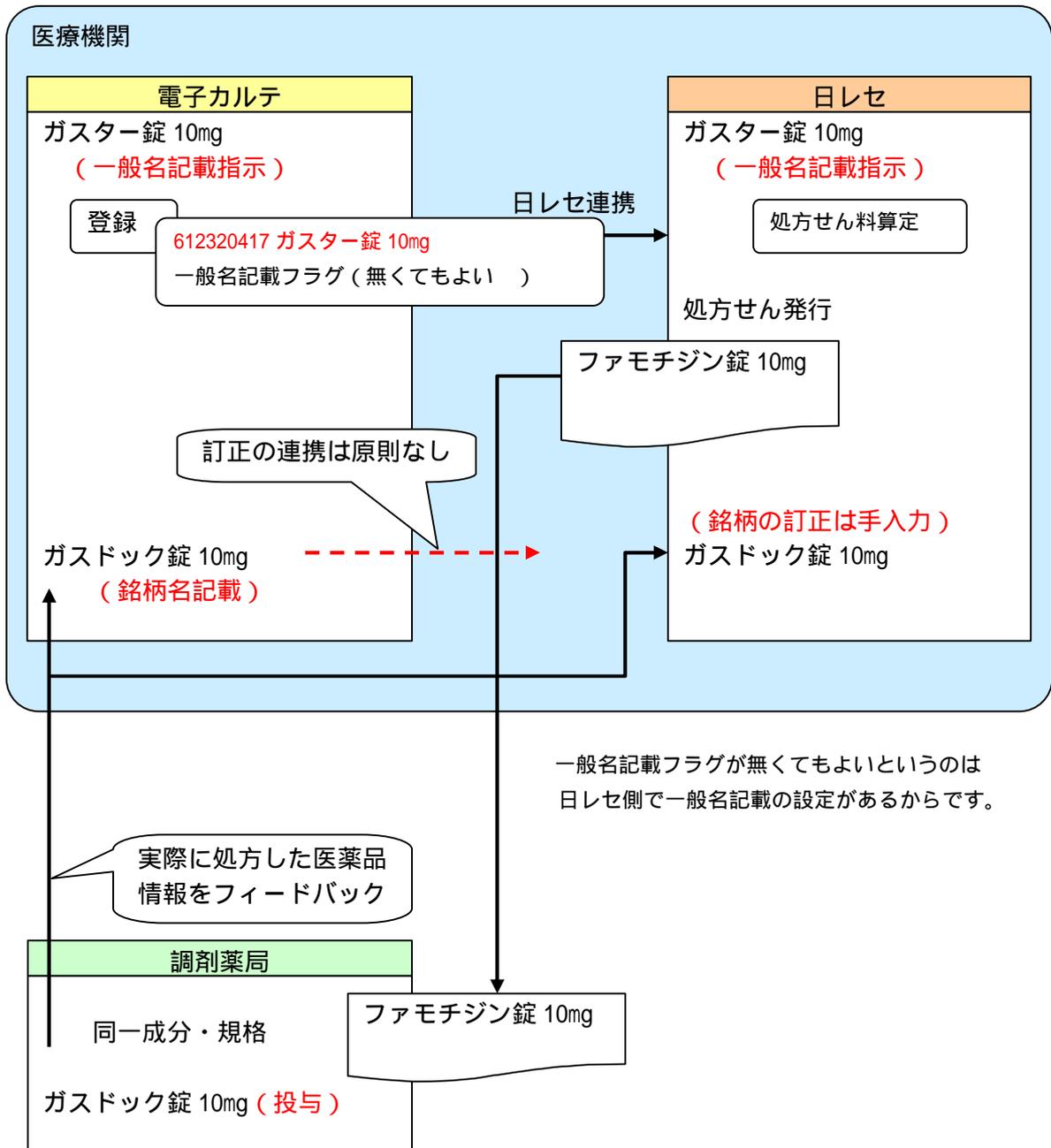
日レセ側は、ガスター錠 10mg に対し一般名記載の設定をしています。



運用例2

電子カルテ側は、一般名を保有しておらず、処方せんの発行は日レセ側で行います。  
 一般名ファモチジン錠10mgは、医薬品コードがありません。

日レセ側は、ガスター錠10mgに対し一般名記載の設定をしています。



なお、調剤薬局で処方された医薬品についてフィードバックされますが、医療機関側でのカルテの訂正については、この運用例の限りではありません。

## 2 一般名マスタ

現行、日レセでは医薬品の一般名を一般名マスタ（テーブル名：TBL\_GENERICNAME）で管理しています。

このマスタはユーザーには開放していませんので訂正などメンテナンスはできません。  
次の仕様でマスタ化をしています。

レコードキー

薬価基準収載医薬品コードの先頭9桁で括り、レコードキーとします。

【薬価基準収載医薬品コード】(12桁コード)

(例) ファモチジン錠10mg      2325 003 F 1 02 4

日本標準商品分類コードの87を除いた数字

成分別の番号（内服薬：001-399、注射薬：400-699、外用薬：700-999）

剤形を表す記号（内服薬の場合、A-E:散剤、F-L:錠剤、M-P:カプセル、Q-S:液剤、  
T,X:その他）

から によって分類された同一分類内での規格単位番号

同一規格内での銘柄別に付けられた番号

検証番号

一般名

成分名〔+剤形+主成分の含有量〕

ファモチジン錠10mg（商品名：ガスター錠10mg等）

その他の項目

省略（テーブル定義書を参照）

マスタ化の範囲

内服薬、外用薬についてマスタ化を行います。

注射薬はなし

更新のタイミング

新規医薬品の告示に併せてマスタ更新データを提供する予定です。

4月改定に併せて現行の一般名マスタを訂正するため、3月中にマスタ更新データを提供します。

**現行の一般名マスタ（更新前の状態）からデータを抽出し、電子カルテ等で利用することはやめてください。**

### 3 一般名記載の指示

日レセでの一般名記載の指示は、次の方法とします。

システム管理で一般名記載となる設定にします<sup>1</sup>。あるいは、点数マスタの「一般名記載」項目を「1 一般名を記載する」と設定します。

インストール時はすべて「0 記載しない」となります。

(注意)「2 処方名称を記載する」と設定した場合は、正しく算定できません。

診療行為入力で一般名記載となる医薬品を入力した場合、名称には一般名記載であることが識別できるように“般”を先頭に編集します。(4月改定対応パッチ)

入力コード	名称
612320417 3	*【般先】ガスター錠10mg
001000301*5	【1日3回毎食後に】

診療行為入力で一般名記載となる医薬品を入力するが、患者が後発品を希望しない場合、銘柄名記載とするためのシステム予約コードを医薬品の直下に入力する。

(4月改定対応パッチ)

入力コード	名称
612320417 3	*【般先】ガスター錠10mg
099209907	【銘柄名記載】
001000301*5	【1日3回毎食後に】

診療行為入力で一般名記載とならない医薬品を入力するが、患者が後発品を希望した場合、一般名記載とするためのシステム予約コードを医薬品の直下に入力する。

(4月改定対応パッチ)

入力コード	名称
620098801 1	*【先】ロキソニン錠60mg
099209908	【一般名記載】
001000122*5	【痛む時に】

1 2012年4月診療報酬改定対応(処方せん)の資料を参照してください。

## 4 電子カルテ側でのデータ作成

処方せん料の算定に係りますので、処方内容はすべて日レセ側へ送信する必要があります。

CLAIM 連携の場合

一般名記載指示の方法

方法1 (推奨)

一般名指示の情報として数量コード(claim:numberCode="xx")を使用します。

claim:numberCode="90" : 一般名記載指示

claim:numberCode="91" : 銘柄名記載指示

上記以外 : 日レセ側の点数マスタ設定指示に従う

CLAIM データサンプル

612320417 ガスター錠 10mg に対して一般名記載指示をした場合

```
<claim:bundle claim:classCode = "210" claim:classCodeId = "mstClaim" >
  <claim:className>内服</claim:className>
  <claim:bundleNumber>5</claim:bundleNumber>
  <claim:item claim:subclassCode = "2" claim:subclassCodeId = "Claim003"
    claim:code = "612320417" claim:tableId = "mstClaim" >
    <claim:name>ガスター錠 10mg</claim:name>
    <claim:number claim:numberCode = "90" claim:numberCodeId = "Claim004"
      claim:unit = "錠" >
      3.00
    </claim:number>
  </claim:item>
  <claim:item claim:subclassCodeId="Claim003" claim:code="001000308"
    claim:tableId="tbl_tensu">
    <claim:name>1日3回毎食直後に</claim:name>
  </claim:item>
</claim:bundle>
```

一般名記載指示

## 方法2

医薬品の直下に claim:item により日レセのシステム予約コード(099209908 一般名記載)等の記録をします。

なお、方法1と方法2の両方が記録されている場合、方法1の claim:numberCode による指示を優先します。

## CLAIM データサンプル

612320417 ガスター錠 10mg に対して一般名記載指示をした場合

```
<claim:bundle claim:classCode = "210" claim:classCodeId = "mstClaim" >
  <claim:className>内服</claim:className>
  <claim:bundleNumber>5</claim:bundleNumber>
  <claim:item claim:subclassCode = "2" claim:subclassCodeId = "Claim003"
    claim:code = "612320417" claim:tableId = "mstClaim" >
    <claim:name>ガスター錠 10mg</claim:name>
    <claim:number claim:numberCode = "" claim:numberCodeId = "Claim004"
      claim:unit = "錠" >
      3.00
    </claim:number>
  </claim:item>
  <claim:item claim:subclassCode = "2" claim:subclassCodeId = "Claim003"
    claim:code = "099209908" claim:tableId = "mstClaim" >
    <claim:name>一般名記載</claim:name>
  </claim:item>
  <claim:item claim:subclassCodeId="Claim003" claim:code="001000308"
    claim:tableId="tbl_tensu">
    <claim:name>1日3回毎食直後に</claim:name>
  </claim:item>
</claim:bundle>
```

一般名記載指示

## API の場合

## 一般名記載指示の方法

## 方法1 (推奨)

中途終了リクエストに一般名記載指示の項目を追加します。

項目名: Medication\_Generic\_Flg

区分 : yes 一般名記載指示

: no 銘柄名記載指示

: 上記以外 日レセ側の点数マスタ設定指示に従う

## API データサンプル

612320417 ガスター錠 10mg に対して一般名記載指示をした場合

```
<data>
```

(省略)

```
<array name="Medical_Information">
```

```
<record>
```

```
<string name="Medical_Class">210</string>
```

```
<string name="Medical_Class_Name">内服薬剤</string>
```

```
<string name="Medical_Class_Number">5</string>
```

```
<array name="Medication_info">
```

```
<record>
```

```
<string name="Medication_Code">612320417</string>
```

```
<string name="Medication_Name">ガスター錠 10mg</string>
```

```
<string name="Medication_Number">3</string>
```

```
<string name="Medication_Generic_Flg">yes</string>
```

```
</record>
```

```
</array>
```

```
</record>
```

```
</array>
```

(省略)

```
</data>
```

一般名記載指示

## 方法2

医薬品の直下に Medication\_Code により日レセのシステム予約コード (099209908 一般名記載)等の記録をします。

なお、方法1と方法2の両方が記録されている場合、方法1の Medication\_Generic\_Flg による指示を優先します。

## API データサンプル

612320417 ガスター錠 10mg に対して一般名記載指示をした場合

```

<data>
  (省略)
  <array name="Medical_Information">
    <record>
      <string name="Medical_Class">210</string>
      <string name="Medical_Class_Name">内服薬剤</string>
      <string name="Medical_Class_Number">5</string>
      <array name="Medication_info">
        <record>
          <string name="Medication_Code">612320417</string>
          <string name="Medication_Name">ガスター錠 10mg</string>
          <string name="Medication_Number">3</string>
        </record>
        <record>
          <string name="Medication_Code">099209908</string>
          <string name="Medication_Name">一般名記載</string>
          <string name="Medication_Number">1</string>
        </record>
      </array>
    </record>
  </array>
  (省略)
</data>

```

一般名記載指示

## 5 処方せん料の算定

電子カルテ側からの送信データに処方せん料（一般名記載加算を含む）を記録された場合、処方せん料については破棄し、日レセ側で自動算定します。